

脊椎外科

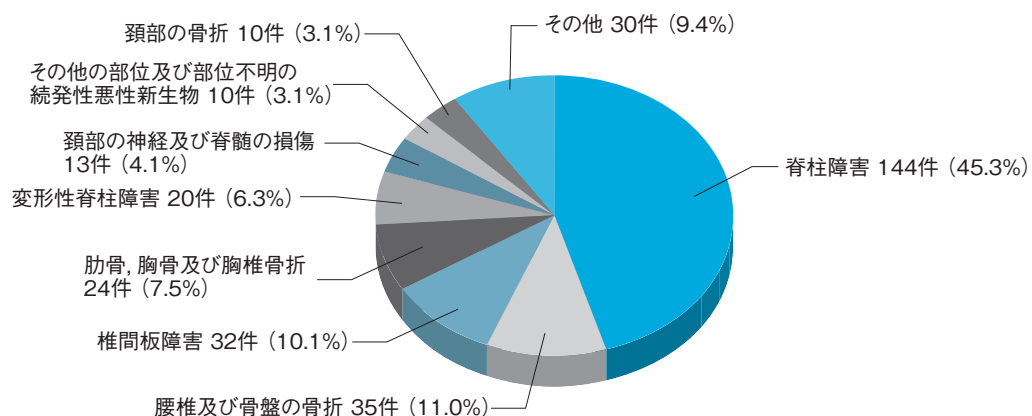
1. 概要

脊椎外科は2005年4月1日より院内標榜科として新設された。2020年の脊椎外科医は吉原（部長 専門医、指導医）、岡田、館の3人であり、整形外科スタッフの協力を得ながら診療を行い、年間200件程の手術治療を行っている。主な疾患は、頸髄症、脊柱管狭窄症、椎間板ヘルニアであるが、当院が3次救急病院であるため、脊椎外傷の治療も精力的に行っている。稀な疾患においては、名古屋大学整形外科脊椎グループと連携をとりながら治療を行っている。2014年から手術室にO-arm CTとナビゲーション機器を導入し、より安全性を向上させた。また、高齢化に伴い増加している骨粗鬆症性脊椎圧迫骨折に対してはセメント治療（BKP）も導入を始めた。また腰椎椎間板ヘルニアに対しては、保存療法として椎間板酵素注入療法も開始した。2021年からは脊椎脊髄外科専門医の増員を予定しており、より積極的かつ安全な治療を提供していく。

（部長 吉原 永武）

2. 新規登録疾患

総数：318件



疾患名	主となるICD10病名	件数(件)	ICD10
脊柱障害	脊柱管狭窄(症)	55	M4806
	その他の脊椎症	37	M4782
腰椎及び骨盤の骨折	腰椎骨折	35	S3200
椎間板障害	その他の明示された椎間板ヘルニア	25	M512
肋骨, 胸骨及び胸椎骨折	胸椎骨折	22	S2200
変形性脊柱障害	脊椎すべり症	9	M4316
頸部の神経及び脊髄の損傷	脊髄のその他及び詳細不明の損傷	13	S141
その他の部位及び部位不明の続発性悪性新生物	骨及び骨髄の続発性悪性新生物	10	C795
頸部の骨折	頸部の骨折, 部位不明	9	S1290

3. 活動報告

(1) 主な対象疾患

腰椎椎間板ヘルニア 腰部脊柱管狭窄症 頸椎症性頸髄症 腰椎迂り症・分離症 頸椎椎間板ヘルニア 後縦靱帯骨化症・黄色靱帯骨化症・黄色靱帯石灰化症 リウマチ脊椎 透析脊椎 脊髄腫瘍・脊椎腫瘍 脊椎感染症 脊椎外傷 その他

(2) 手術実績

術 式	件数(件)
頸椎椎弓形成術	37
頸椎椎間孔拡大術	2
頸椎前方除圧固定	1
頸椎後方固定術	21
胸椎除圧固定	3
胸椎椎弓切除	10
椎間板ヘルニア摘出	28
椎弓切除(腰椎除圧術)	65
脊椎固定術	44
XLIF	1
胸腰椎前方固定	1
胸腰椎後方固定	17
胸腰椎前方後方同時固定	1
脊椎脊髄腫瘍	3
その他	35
計	269

座長・司会（医局）

（脊椎外科）

1	吉原 永武.Session 4:整形外科に学ぶ頰椎低侵襲手術.第14回NSG頰椎セミナー.2020/2/8
2	吉原 永武.『より良い生活に向けて「痛み」とどう向き合うか～ミロガバリンへの期待～』.東三学術講演会.2020/2/19

講演（医局）

（脊椎外科）

1	岡田 裕也.『頸部神経根症 ～保存治療を再考する～』.第48回東三河脊椎カンファレンス合同研修会..2020/2/7
---	--

論文・著書（医局）

（脊椎外科）

1	岡田 裕也.治療に難渋した結核性脊椎炎の1例.ournal of Spine Research. 2020; 11: 758-763.
---	---